

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2022 年 4 月号

2022 年 4 月 1 日
(一財) マイクロマシンセンター
(<http://www.mmc.or.jp/>)

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

1. 全般動向

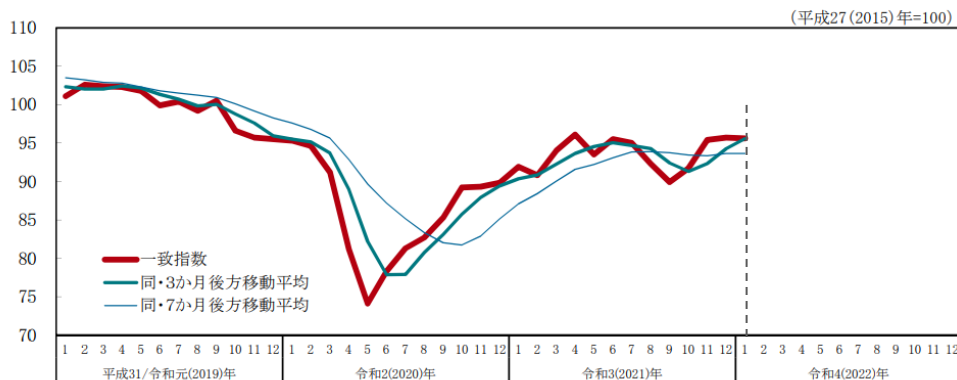
■ 景気動向指数 (速報、改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和 4 (2022) 年 1 月分速報からの改訂状況 (令和 4(2022)年 3 月 23 日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202201rsummary.pdf>

- ① 1 月分 CI (平成 27(2015)年 = 100) (改訂値)は、
先行指数：102.5、一致指数：95.6、遅行指数：94.3
- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (CI 一致指数) は、足踏みを示している。

	1 月分 CI (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	103.7	102.5
一致指数	94.3	95.6
遅行指数	93.1	94.3

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 4 (2022) 年 1 月分 (速報) (3 月 8 日公表)」 pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202201psummary.pdf>

(公表資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202201report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（3月）（内閣府、令和4年3月25日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/03kaigi.pdf>

< 日本経済の基調判断 >

（現状）【判断維持】

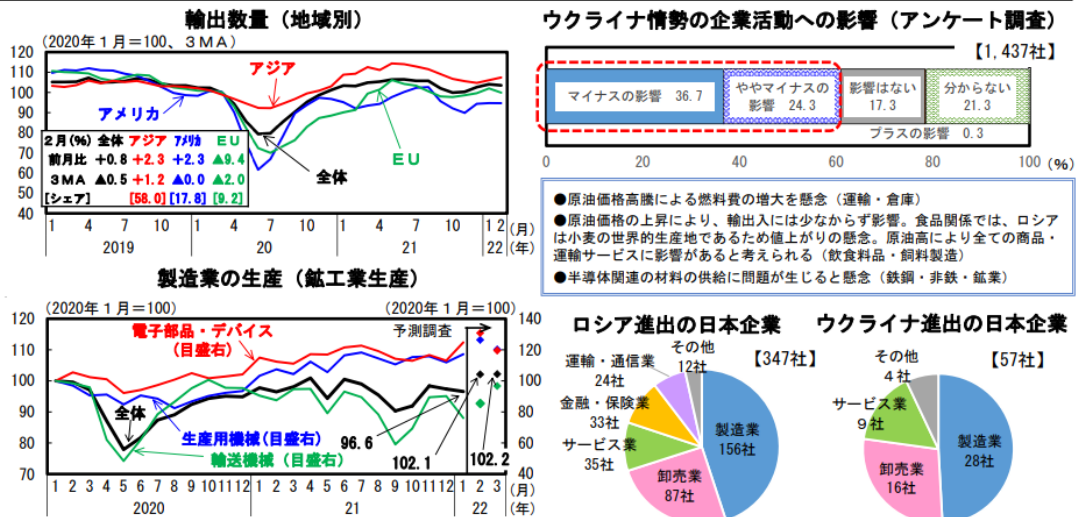
- ・ 景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

今月の指標(1) 輸出・生産

- ▶ 我が国の輸出は概ね横ばい。弱含んでいたアジア向けが、中国の生産活動の持ち直し等を背景に横ばいとなり、アメリカや欧州向けも横ばい。
- ▶ 生産は持ち直しの動き。アジア向け輸出動向等を背景に、生産用機械や電子部品・デバイスなどが緩やかに増加。
- ▶ ウクライナ情勢については、民間機関の調査では、約6割の企業がマイナスの影響を与えると回答。今後の影響に注視が必要。



(備考) 1. 左上図は、財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。左下図は、経済産業省「鉱工業生産」により作成。季節調整値。
2. 右上図は、帝国データバンク「ウクライナ情勢による企業活動への影響(直接・間接)アンケート」(2022年2月28日付)により作成。アンケート期間: 2022年2月25日~28日、有効回答企業数: 1,437社。右下図は、帝国データバンク「緊急調査: 日本企業の「ウクライナ進出」状況調査」、「緊急調査: 日本企業の「ロシア進出」状況調査」により作成。

- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ:

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告(令和4年3月)」(pdf):

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/0325getsurei/main.pdf>

■ 設備投資 令和4年1月実績：機械受注統計調査報告
 (令和4年3月17日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

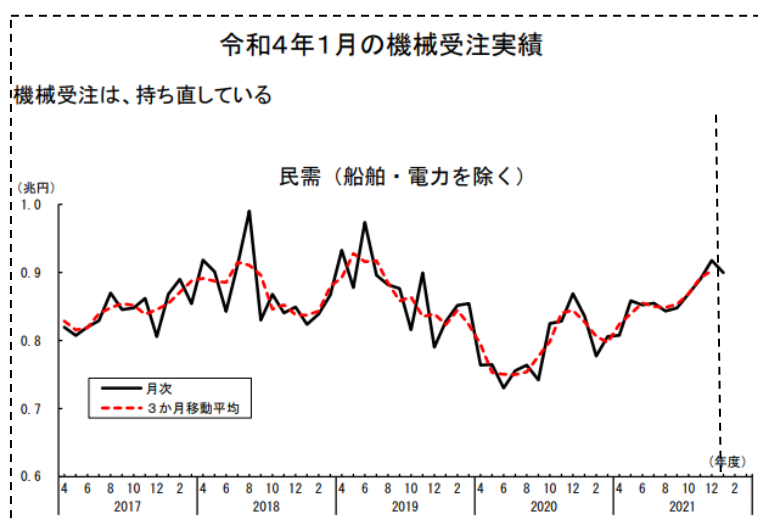
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2201juchu.html>

調査結果の概要 (季節調整値) :

1. 機械受注総額の動向をみると、
2021 (令和3) 年12月前月比1.8%増の後、2022 (令和4) 年1月は同3.3%減の2兆7,512億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比9.9%減の9,950億円、官公需は同13.6%減の2,338億円、外需は同0.9%増の1兆3,050億円、代理店は同1.4%増の1,169億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2021 (令和3) 年12月前月比3.1%増の後、2022 (令和4) 年1月は同2.0%減の8,996億円となった。このうち、製造業は同4.8%減の4,322億円、非製造業 (除く船舶・電力) は同1.9%減の4,529億円となった。

(以下図表は「令和4年1月の機械受注実績 概要 (PDF版)」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2201gaiyou.pdf>



対前月(期)比 (単位:%)

期・月	2021年 (令和3年)				2022年 (令和4年)				2022年 (令和4年)	
	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 見通し	10月 実績	11月 実績	12月 実績	1月 実績	
受注総額	9.7	2.1	1.5	9.0	△9.5	20.9	△4.3	1.8	△3.3	
民需	△6.2	7.5	△0.9	14.1	△8.7	22.0	△11.3	6.2	△9.9	
〃 (船舶・電力を除く)	△4.1	4.1	1.1	5.1	△0.5	2.5	2.4	3.1	△2.0	
製造業	△0.0	11.1	7.2	3.1	6.6	△10.2	7.1	3.5	△4.8	
非製造業 (除く船舶・電)	△8.7	△0.9	△3.6	6.8	△7.2	12.6	△0.5	0.4	△1.9	
官公需	△4.2	△0.5	5.9	3.6	7.2	20.3	△11.1	1.5	△13.6	
外需	30.7	0.3	4.1	1.7	△13.8	14.5	2.6	△2.8	0.9	
代理店	2.8	9.3	2.0	1.4	△16.6	11.1	△6.9	△6.4	1.4	
民需 (船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	1.8	2.7	1.2	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. △印は減少を示す。
 3. 見通しは2021年12月末時点の調査。
 4. 2022年1月調査(同年3月17日公表)において、季節調整系列の過及改訂を行ったため、それに伴い「2022年1~3月見通し」(同年2月17日公表)も改訂されている。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2022年3月31日発表より抜粋)

【2022年1月動向概況】

- ・ 2022年1月のグローバル出荷額は3,680億円、前年比112.9%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比119.5% 1,744億円）、接続部品（同108.8% 843億円）、変換部品（同110.7% 615億円）、その他の電子部品（同101.9% 477億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比113.5% 753億円）、米州（同125.5% 386億円）、欧州（同112.5% 362億円）、中国（同101.5% 1,315億円）、アジア・その他（同127.6% 859億円）となった。

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額（2022.03.31発表：毎月更新）

電子部品出荷額（億円）	2021年度						2021年度累計		
	11月		12月		1月		4月-1月		
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	
世界計	4,043	116	3,725	109	3,680	112	36,599	120	
(日本)	921	130	851	122	753	113	7,914	126	
品目別	受動部品	1,861	121	1,738	115	1,744	119	17,318	125
	コンデンサ	1,370	123	1,273	116	1,304	124	12,704	126
	抵抗器	157	123	155	118	152	118	1,530	130
	トランス	40	123	39	123	41	118	366	121
	インダクタ	284	109	261	105	238	99	2,642	120
	その他	8	290	8	103	7	155	74	141
	接続部品	898	108	869	109	843	108	8,367	115
	スイッチ	346	97	327	97	331	103	3,201	106
	コネクタ	548	117	539	117	509	112	5,136	122
	その他	2	87	3	77	2	93	29	101
	変換部品	770	124	624	103	615	110	6,070	122
	音響部品	103	103	92	87	114	106	1,017	110
	センサ	225	100	219	97	216	100	2,203	114
	アクチュエータ	442	149	312	114	284	121	2,849	135
	その他の電子部品	513	105	492	102	477	101	4,842	108
	電源部品	210	121	207	122	192	114	1,983	124
高周波部品	302	96	284	91	284	95	2,859	100	

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額

«2021年度»

地域別出荷金額（億円）	2021年度						2021年度累計	
	11月		12月		1月		4月-1月	
	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)	金額(億円)	前年比(%)
グローバル	4,043	116	3,725	109	3,680	112	36,599	120
日本	921	130	851	122	753	113	7,914	126
米州	376	122	358	120	386	125	3,556	128
欧州	371	112	301	110	362	112	3,350	125
中国	1,484	105	1,409	100	1,315	101	13,690	109
アジア他	883	122	798	109	859	127	8,060	129

詳細は以下の JEITA（電子情報技術産業協会）ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上